

延 監 第 158 号
令和 6 年 2 月 28 日

令和 5 年度

定期 監 査 報 告 書

(令和 5 年 12 月 ~ 令和 6 年 1 月 実 施 分)

延 岡 市 監 査 委 員

令和5年度 定期監査報告書

1 監査の対象

〔企画部〕 人権推進課 男女共同参画推進室

〔総務部〕 危機管理課

〔農林水産部〕 総合農政課 農業畜産課 林務課

〔教育委員会〕 社会教育課 文化財・市史編さん課

監査委員事務局

2 監査の期間

令和5年12月5日 から 令和6年2月13日 まで

3 監査を実施した監査委員

監査委員 野 下 美智江

監査委員 服 部 俊 明

監査委員 中 城 あかね

4 監査の対象項目

次の項目を中心に監査を行った。

なお、今年度は、随意契約の理由は適正か、使用料等の金額算定は適正か、契約履行の検査や補助事業の実績確認は適正か、適切に財産管理がなされているか、適正に物品等が管理されているかを重点項目として監査を行った。

- (1) 歳入事務（調定、現金取扱いなど）
- (2) 契約に関する事務（契約手続、履行確認など）
- (3) 補助金等の交付に関する事務（交付手続、実績報告など）
- (4) 財産の管理に関する事務（貸付・使用許可手続、使用料等の徴収など）
- (5) 物品等の管理事務（台帳管理、現物確認など）
- (6) その他（各課室等の固有の事務）

5 監査の方法等

監査は、各課室等の財務に関する事務の執行状況及び関連事務が、適正かつ効率的に行われているかを主眼として実施した。監査の方法は、あらかじめ資料の提出を求めた上で、抽出による関係書類の確認、実査及び担当職員に対する質問等により行った。なお、監査の対象としたのは、原則として令和4年度及び令和5年度分（監査日現在まで）である。

6 監査の結果

対象課室ごとの監査の結果は、以下のとおりである。

なお、事務処理上留意すべき軽易な指摘事項については、既に対象の課室長に対し、口頭で指導をしたので記述を省略する。

企画部

人権推進課

事務処理は適正なものと認められた。

男女共同参画推進室

事務処理は適正なものと認められた。

総務部

危機管理課

事務処理は適正なものと認められた。

農林水産部

総合農政課

事務処理は適正なものと認められた。

農業畜産課

事務処理は適正なものと認められた。

林務課

事務処理は適正なものと認められた。

教育委員会

社会教育課

事務処理は適正なものと認められた。

文化財・市史編さん課

事務処理は適正なものと認められた。

監査委員事務局

事務処理は適正なものと認められた。